

BRIDGE

Issue 025
The Intersection of Nihonbashi Hamacho

Section 01

日本橋浜町・人形町界隈の商店街を深掘り！

Photo_Shiori Kitauro,Daisuke Takano / Text_Misao Hamada



Section 01
日本橋浜町・人形町界隈の商店街を深掘り！

Section 02
でかけて、参加して、もっとまちを満喫！

Section 03
このメンバーで盛り上げています！
まちとつながる「浜町マルシェ」

Section 04
浜町エリマネレポート
Vol.16

Section 05
暮らしとドボク Vol.07

Section 06
新着情報

隅田川沿い、日本橋エリアの一角に位置する、日本橋浜町。
下町風情が微かに残る趣深い街並みに、最近では暮らしを彩る新たなカルチャースポットが続々と生まれています。

「BRIDGE」は、そんな浜町の魅力や変化を、まちの中の人に、まちの外の人に、発信していく地域密着メディアです。

住民と住民を。ワーカーとワーカーを。伝統と新風を。この小冊子が繋ぎ合わせる“橋”となり、浜町にさらなるシーンとワクワクを誘います。

About BRIDGE



Supervised by 一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント Supported by
Edited by good mornings Co.,Ltd
Design by Form inc.
Date of Issue 2023_8_30

安田不動産 明徳座
建設技術研究所

まちのにぎわいを創出する商店街。住む人にとっては当たり前の日常であり、訪れる人にとっては非日常の特別な場所。今回は、日本橋浜町・人形町エリアにある 6 つの商店街の魅力に迫ります。気楽にふらりと立ち寄れるのも商店街の魅力ですが、そこに根付いた歴史や伝統、人々の思いを知ればもっと楽しく、もっと身近に感じることができるかもしれません。



浜町商店街連合会
伝統と革新が共存。
進化を続ける都会の商店街



・浜町商店街連合会
(加盟店舗数：約 40)

稲崎 知伸さん
経新堂

江戸時代には武家屋敷が並ぶ邸宅街だった日本橋浜町。関東大震災後に三業地として発展し、浜町公園や明治座があることから、散策や観劇のまちとしてにぎわいを見せてきました。加藤清正公をまつる清正公寺やナウマンゾウの化石「浜町標本」発掘の地としても知られ、歴史深い地域でもあります。清洲橋通りと新大橋通りに面した一帯にあるのが、浜町商店街連合会。老舗からおしゃれなカフェまでさまざまな個店が点在する、古きと新しさが融合したまちです。都会の雰囲気を持ちながら花や緑も多く、初めて訪れる人も親しみを感じるのは今も昔も変わらないまちの連帯感があるから。商店会の温かな日常に触れながら、コーヒーマシーンに歴史探訪してみるのもいいかも。

富沢町商店街
六商店街の中のルーキー。
若い商店街だからこそ情熱がある！



・富沢町商店街
(加盟店舗数：7)

米田 哲治さん
ホルモン酒場 是る

江戸時代には古着商のまちとして繁栄し、吉原があった場所でもあることから「大門通り」という名が残る富沢町。歴史を感じる建造物も数多く残るエリアですが、商店街が発足したのは 2018 年。祭りやイベントがあれば、進学や就職でこの地を離れた人たちの帰るきっかけになる。“帰る理由のある場所”にしたという思いから、商店街の活動がスタートしました。何世代にもわたってこの場所に住む人も、新しく住む人もみんなでの集うまちを目指しています。新しい商店街だからこそ、可能性は無限大。どのような歴史を刻んでいくのがか楽しい商店街です。飲食店のジャンルが豊富で、鉄道がコンセプトの居酒屋「キハ」など、ユニークなお店もあるのでぜひ足を運んでみて。



トルナーレ日本橋浜町商店会
複合施設に構える
新しいスタイルの商店会



・トルナーレ日本橋浜町商店会
(加盟店舗数：12)

磯崎 賢博さん
パティスリーイソザキ

2005 年、住宅棟とオフィス棟、商業施設から成る複合施設として完成した「トルナーレ日本橋浜町」。浜町のランドマークとして知られ、新大橋通りと清洲橋通り交差点の南西側に位置しています。このビルに店を構えるのが、トルナーレ日本橋浜町商店会。本格イタリアンやパティスリーの名店、スーパー、クリニックなどが軒を連ね、広場やウッドデッキテラスは親子連れやワーカーが集う憩いの場所になっています。トルナーレの竣工と共に発足した商店会。新しい商店会だからこそ地域とのつながりを大切に、他商店会と連携しながらまちづくりに取り組んでいます。イタリア語で“帰る”を意味するトルナーレ。訪れる人がまた帰ってきたくなるような、ホッとできる場所です。

東日本橋やげん堀商店街
江戸三大不動の一つ
「薬研堀不動院」が商店街の目印



・東日本橋やげん堀商店街
(加盟店舗数：47)

渡辺 秀次さん
あひ鴨一品 鳥安

芝居小屋や茶見世、屋台、料亭など江戸屈指の盛り場として繁栄してきた、商人のまち。隅田川を挟んだ両国や、神田川で柳橋に接する中央区の北東の端が、商店街が位置する場所です。開創 430 年以上の歴史を持ち、「お不動さん」として親しまれる薬研堀不動院がこのまちのシンボル。お不動さんが講談発祥の地でもあることから、無料で聴くことができる「講談の会」を毎月開催しています。注目したいのが、商店街の灯り。2011 年に設置された LED 街路灯で、江戸の雰囲気を感ずるデザインが目に残ります。伝統ある老舗や名所旧跡が多い土地柄、古くから続く行事やイベントが多いこの地域。時代の変化に合わせながら、まちの歴史と伝統を守り続けています。

人形町商店街協同組合
下町風情が色濃く残る
昔ながらの商店街



・人形町商店街協同組合
(加盟店舗数：約 200)

柴川 健さん

江戸時代から商業、経済の中心地として栄えた人形町。また、江戸歌舞伎や人形芝居など芝居見物が盛んな娯楽のまちとして発展してきた歴史もあり、多くの人形師がこのエリアに住んでいたことが地名の由来とされています。「からくり櫓」がシンボルの人形町通りを中心に、放射状に広がるのが人形町商店街。老舗と新生が入り混じる今の時代も変わらないのは、先人から受け継がれてきた江戸っ子魂。懐かしさや心安さを求めて多くの人が訪れる、伝統と歴史が息づく人気のまちです。200もの店が立ち並ぶ大きな商店街は、一日中散策しても飽きないほど。人形町出身の漫画家・森本サンゴさんが手掛けたゆるキャラ、「下町KING人」も要チェック！商店街のイベントで会えるかも？

甘酒横丁商店会
レトロでモダン。
食歩歩きが楽しい下町の散歩道



・甘酒横丁商店会
(加盟店舗数：57)

佐々木 誠治さん
新川屋佐々木酒店

証券街やビジネス街に隣接する位置にありながら、昭和の風情漂う甘酒横丁。人形町商店会の真ん中を直行する形で存在し、トウカエデの並木が続く通りには何代も続く老舗や名店が軒を連ねます。甘酒横丁という名は明治時代、寄席や明治座通りの見物客が立ち寄った人気の甘酒屋「尾張屋」が由来。尾張屋がなくなった現在は、「とうふの双葉」「京菓子 彦九郎」「佐々木酒店」で甘酒を飲むことができます。体験してみたいのが、「コロコロコロリング」。20m にも及ぶ手作りの大道具を使ってボールを運ぶ商店会の名物イベントで、毎年多くの参加者が行列をなすほど人気のだとか。暮らす人、訪れる人、すべての人が温かな気持ちになれる料で活気のあるまちです。

